

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力	育てたいとの関わり	基本施策	本年度新たな学校の重点		具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価A S D	分析と改善点		
方針・重点・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①深い学び ②なりたい自分へ向かう挑戦 ③地域との協働 ④生き生きと働ける地域社会への発信	あたにかい心の花をさかせ 自分づくりをすすめる子	自分から考える力	自分からみながく	②	3つの自慢(聞く話す・掃除・歌声) 2つの習慣(あいさつ・くつろえ) をみがく自治的活動の推進	1) 自治的活動の意味を理解し、進んで取り組むとともに、感謝の気持ちを持ち自治的活動に取り組む。 児童アンケート「学校が楽しい」90%以上	A	・児童委員会を中心とし、「3つの自慢(聞く話す・歌声・掃除)2つの習慣(あいさつ・くつろえ)」の、各委員長が目指す姿(南レンジャー)を示し、取り組んだ。児童アンケートで「学校が楽しい」と回答した児童90・8%			
						自分で決めて挑戦する				1) 「なりたい自分」に向かい、自分で決めたことに挑戦し続けるたくまさを育成する。 児童アンケート「なりたい自分になれた」100%	B	・「なりたい自分」の振り返りを、タブレットを活用して家族に伝えるなど、家庭と連携し、めあてに向かって取り組むことができた。児童アンケートで「なりたい自分になれた」と回答した児童91・4%
						①② 基礎基本をみがく				1) 4ステージごとの生活・学習目標の設定と評価の積み上げを行う。	A	・ステージごとの生活と学習の目標に向かい、各指導部長が中心となり、全校が同じ方向を向いて取り組むことができた。
				自分からたかめる	①④③	① 思考力判断力表現力をたかめる	1) 全国学テ平均正答率、県平均以上を目指す。 2) 家庭と学校が連携協力する「花さかウィーク」を年2回以上実施する。	B	・家庭と学校が連携協力する学習(花さかウィーク)の取り組みを通し、めあてをもち自分から学習に取り組むことができた。			
						④ 校内研究体制の充実	1) 年1人1回、積極的に公開授業を行う。 2) 研修主事を中心とし、計画的な研修を行い教師の授業力アップを目指す。 3) ICT機器を活用し、個別最適化学習を推進する。	A	・研修主事を中心とし、職員の学びたいことを計画的に研修(ICT活用等)し、授業力向上を目指した。授業において「自ら伝え合う小集団追究の在り方について」公開授業を通し、全職員で研究を進めることができた。児童アンケートで「授業が分かる」と回答した児童90・5%			
						③ 地域の教育力を最大限に生かし、開かれた教育課程の実践	1) 地域の方の講話、地域での体験活動、伝統文化について学ぶ場を設定する。	A	・地域連携推進教師を中心に、各教科において、地域人材を活用し、本物に触れたり、話を聞いたりするなど、学校独自のカリキュラム作成の土台づくりができた。			
				自分からいかす	②③④	② 学びに向かう力・人間性をいかす	1) 年2回親子学習会を行い、学校や家庭において学んだことを活かすことができるようにする。	A	・年に2回親子学習会を行い、健康や進路、命の大切さについて親子で考えることができた。			
						③④ いつでもどこでも身に付けた力をいかす	1) 「自分の命を自分で守る」ために、学校・地域が一体となった防災教育を進める。 2) お世話になった方に感謝の気持ちを伝える場を設定する。	A	・「ありがとう活動」を通して、見守り隊の方や地域人材講師の方に感謝の気持ちを伝える活動を通して、たくさんの方に支えられていることに気付くことができた。			
						②③ 学びをあらゆる場で活用する	1) 行事や集会等、ねらいを明確にし、めあてをもって取り組む指導を行う。 2) SDGsを取り入れた活動を工夫する。 児童アンケート「自分にはよいところがある」85%以上	B	・育友会主催講演会「サイエンスショー」を通して、SDGsについて全校で学ぶことができた。 ・児童アンケートで「自分にはよいところがある」と回答した児童81・6%			

学校運営協議会における主な評価内容

・子どもたちが落ち着いて学習に向かっている様子を伺うことができた。もう少し、元気があってもよいと感じるところもあった。
 ・マイサポーター制度やSOSの出し方指導が行われていることは大変良い。一人一人の心に寄り添った教育がされている。
 ・今年度は、地域人材を活用した学習が多くあり、学校と地域が連携しながら教育活動が行われていると感じた。